

農業における多様な人材確保について

1. 現状・課題

比較的農業後継者が確保されている十勝管内においても、農家の高齢化や後継者の不在が進行していることから、農業の人材確保は喫緊の課題である。

2. 振興局における事業の概要

農業高校だけでなく、これまで農業に触れたことのない普通高校の生徒に対しても、職業としての農業やその魅力を発信するほか、農業サイドと福祉サイドのマッチングなど農福連携の具体的な推進、さらには、退職予定自衛官の再就職先としての農業への働きかけなど、多様な人材の確保を推進し、農業に誘導する取組を実施。

3. 令和4年度の取組

(1) 幅広い農業人材確保（独自事業：農業分野における人材確保対策事業）

○出前授業（令和4年10月14日、10月26日、12月20日）

対象校：普通科高校（令和4年度は音更高校1年生93名に対して実施）

内 容：第1回目 農業の基礎についての説明

第2回目 農業大学校と管内農場見学

第3回目 農業者の出前授業とパネルディスカッション

※ 実施前…農業に対してネガティブな印象を持つ生徒が多かった。

実施後…農業に対して良い印象を持つようになった生徒が4割だった。

(2) 農福連携の推進

○現地見学会（令和4年11月1日）

参加者：町役場（農業、福祉部署）、取組農業者・福祉事業所、関係機関

内 容：農福連携の取組に関心を示す方に、今後の取組検討を促進することを目的として、作業現場の見学、取組者との意見交換を実施。

○農福連携推進シンポジウム（令和5年2月20日）

参加者：福祉事業者及び農業者等90名

内 容：農福連携の取組の裾野を広げることを目的として、農福連携の先進事例等の紹介、管内の取組事例説明、パネルディスカッションを実施。

(3) 退職予定自衛官の農業現場での活躍支援

○就職説明会（令和4年6月21日、8月2日、10月6日、令和5年2月1日）

参加者：退職予定自衛官（参加者114名）

内 容：農業への関心を向上させることを目的として、十勝農業の概要等を説明。

○インターンシップ（令和4年11月2日）

参加者：退職予定自衛官（参加者8名）

内 容：農業関係への就業意欲を向上させることを目的として、農業の現場での作業体験や見学、インターンシップ受入農協や自衛官OBとの意見交換を実施。

※ 令和3年度のインターンシップ参加者のうち2名が、令和4年度に畜産関係法人へ就職する成果があった。

4. 令和5年度以降の取組

令和4年度の取組を踏まえて、以下のとおり取り組む。

(1) 幅広い農業人材確保（独自事業：農業分野における人材確保対策事業）

関係機関と連携しながら、事業実施高校を拡大することで、農業や十勝の魅力を継続して発信する。

(2) 農福連携の推進

シンポジウムの参加者に取組意向や課題などを聞き取り、市町村、農協、福祉事業所等と連携し、具体的なマッチングに向けた取組を専門家の助言も得ながら推進する。

(3) 退職予定自衛官の農業現場での活躍支援

自衛隊帯広地方協力本部からの要望も強く、引き続き農業関係機関と連携し、インターンシップに取り組むとともに、就職相談などフォローを行う。